

「自然周期体外受精」で 確実な治療を



院長 越知 正憲

おち・まさのり●藤田保健衛生大学客員講師。1983年に名古屋保健衛生大学卒業後、同大学産婦人科学教室入局。1989年に藤田保健衛生大学大学院卒業。八千代病院不妊センター副部長、竹内病院トヨタ不妊センター所長などを経て、2004年におち夢クリニックを開設。08年に永遠幸グループ提携クリニックとして、名称をおち夢クリニック名古屋と変更

患者を家族と考え 負担の少ない治療を

女性の晩婚化、初産の高年齢化に伴い、不妊に悩む人が増え、それに応えて不妊治療も日々進歩している。治療法は、採取した精子を子宮に注入する人工授精や、

卵子と精子それぞれを採取して培養液の中で受精卵に育てて子宮に戻す体外受精などさまざまだ。

おち夢クリニック名古屋は、体外受精を中心に行い、不妊に悩む多くの人を救っている。診療にあたって重視しているのは、患者に

院長の考え方

一般的に不妊治療では、

まず人工授精、次に体外受

精と、段階的に高度な治療

に取り組むことが多い。そ

れに対し、「女性は年齢が上

がるにつれて妊娠の確率も

下がりますし、必要な治療

も一人ひとり異なります。

最も適切な治療ができるだけ早く選ぶことが大切です

と指摘するのは桑波田暁子

診療部長。

同院では、性交後に子宮

自然周期採卵で 質の高い受精卵を

治療においても、負担を抑えることに最大限配慮している。体外受精を行う際、一般には多量の排卵誘発剤を使って多くの卵子を採取

に精子が入っているか調べるヒューナーテスト、卵巣内の発育していく卵胞の数を調べるAMH(抗ミューラー管ホルモン)の検査などで、どこに問題があるかを早く見つけ出すよう心がける。子宮に精子が進入できていなければなら人工授精、進入できているにも関わらず妊娠しないのであれば体外受精を選択するなど、適切な治療を早期に選択するのだ。

そして、同院ではその取

り組みをさらに進め、排卵

誘発剤を使わず、自然に排

卵される1~2個の卵子を

採取する「自然周期採卵

」を重視している。培養や胚

凍結保存などの技術・設備

の進歩により、卵子1つで

も十分な成功率が得られる

する。「これは、多くの卵子を採取して、成功率を高めようとするものです。しかし、排卵誘発剤が多くすぎれば、腹水や胸水がたまる卵巣過刺激症候群を引き起こすなど、体に負担がかかります。さらには、多胎妊娠も引き起こしかねません」という桑波田診療部長は、排卵誘発剤を必要最小限の使用にとどめるよう心がけている。

そして、同院ではその取り組みをさらに進め、排卵誘発剤を使わずに、自然に排卵される1~2個の卵子を採取する「自然周期採卵」を重視している。培養や胚凍結保存などの技術・設備の進歩により、卵子1つでも十分な成功率が得られる

研究や工夫を続け

すべての患者に治療を

する。おち夢クリニック名古屋

は、体にやさしい「自然周期

体外受精」など、自然に近い不妊

治療を提供している。越知正憲院長と、桑波田暁子診療部長に、治療について話を聞いた。

愛知県名古屋市の中心部に位置する、おち夢クリニック名古屋。

同院は、体にやさしい「自然周期

体外受精」など、自然に近い不妊治療を提供している。越知正憲院長と、桑波田暁子診療部長に、治療について話を聞いた。

INFORMATION

診療科目：婦人科(不妊治療・生殖医療)、泌尿器科
診療時間：月～木・土 10:00～12:30/16:00～18:30
金・日・祝 10:00～12:30
※火午後、金午前、土午後、日午前は
クリニック指定患者のみ
【初診・再診とも完全予約制】

〒460-0002
愛知県名古屋市中区丸の内3-19-12
久屋パークサイドビル8階
TEL.052-968-2203(初診予約)
TEL.052-968-2224(再診予約)
<http://www.art-ochi.com/>

ようになつたことで、この方法が可能になつたという。
排卵に関するホルモンは数時間単位で変化する。それを見極めて質の良い卵子を採取するためには、医師に知識と経験が求められる。それでも取り入れているのは、「治療にあたり一番大切なのは卵子の質です。自然に得られた卵子が最も質が良いのです。それが受精卵の質にもつながります」と越知院長が語るように、より確実な方法だからである。

十分な設備を揃え 高い成功率を目指す

同院は、よりよい成果を求める、設備も最高水準のもと揃えている。例えば、受精卵を育てるための培養室には、自家発電装置を備え、トラブルが起きた時、受精卵の温度管理を続けられるようにしている。

培養・受精のための機材も同様だ。同院では、体外受精においても、あくまで自然な妊娠に近づけるため、不用意な顎微授精は行わない。それでも重度の男性不孕の例など、顎微授精が求められる際には最新機器を用いて対応するという。「顎微授精は、卵子の表面にある細胞質膜を破つて、内部



診療部長 桑波田 暁子

くわはた・あきこ●久留米大学医学部、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科卒業。日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医など



※体外受精は保険適用外です。成功報酬制度または33万6000～36万7500円。患者の状態や治療法により異なります。詳細は同院ホームページをご確認ください



患者ごとに区切りの設けられた回復室

研究や工夫を続け
すべての患者に治療を

する

同院は、他院で治療の成

功率を防ぐことも可能だ。
「すべての患者が治療により妊娠して、不妊症が無くなればいい」と普段から話している。不妊に悩む人全員を救うことが越知院長の夢だ。

取材／鈴木健太